

武里

武里地区の人口・世帯数
5月1日現在(前月比)
人口 45,151(+42)
男 22,347(+44)
女 22,804(-2)
世帯数 20,870(+81)



公民館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館は5月31日までご利用を休止いたしておりましたが、緊急事態宣言が解除され、早い時期に貸館を再開すべく準備をいたしております。

再開後のご利用に関しましては、

- ① マスクの着用
- ② 手洗い・消毒の実施
- ③ 三密(密閉・密集・密接)の状態を避ける



等を徹底していただき、対処できない活動の場合は使用をお断りすることもあります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

公民館として、皆さまにご利用いただけるよう様々な感染拡大防止のご提案をさせていただきますが、サークルの方、地域の方、皆さまからも「こういう工夫をしたらどうか」「こんな取り組み、いかがでしょうか」というお話もぜひお聴きしたいと思います。

今までに経験したことのない日々が続きますが、だからこそ皆さまのお知恵をぜひよろしくお願いいたします。



★事業中止のお知らせ★

下記に予定しておりました事業は、**中止となりました**ので、お知らせいたします。これから予定する事業につきましても、変更・延期・中止の可能性がございます。詳細は、公民館までお問合せいただくか、ホームページやブログをご確認ください。

期 日	中止した事業
6月 7日(日)	あそぼうよ!
6月10日(水)	子育て広場(ベビーマッサージ)
6月13日、20日(土)	暮らしに役立つパソコン教室
6月19日(金)	たけさとカフェ
6月20日(土)	オレンジカフェ「アサンテたけさと」
6月21日(日)	日食を見てみよう
6月27日(土)	パソコン相談室



●6月の休館日のお知らせ

1日(月) 8日(月) 15日(月) 22日(月) 29日(月)

●今月の公民館施設利用の抽選受付は、9月の1回目と、8月の2回目を受け付けます。

第65回たけさとカフェ

夏の暑さ対策を学ぼう&お薬手帳のお話

日時 7月17日(金) 午後2時～4時
会場 武里地区公民館 3階 研修室1
講師 梶原 進之介 氏
(ウエルシア薬局株式会社 薬剤師)
定員・対象 市内在住・在勤・在学者 20人
参加費 100円(飲み物代等。当日徴収)
申し込み 6月19日(金)より武里地区公民館に
直接または電話で。

パソコンの操作を学ぼう!

ワード・エクセル等のちょっとした疑問にお答え!

日時 第1回 7月11日(土) 午後2時～4時
第2回 7月18日(土) 午後2時～4時
会場 武里地区公民館 2階 会議室1
対象・対象 パソコン初心者～ 10名
(市内在住・在勤・在学者)
パソコンを持ち込んで参加できる方
参加費 無料
申し込み 第1回、第2回ともに6月20日(土)
より武里地区公民館に直接又は電話で。
解決したい疑問もお知らせください。

★新企画★ 作品募集 ～うち de つくろう!～

家で過ごす時間が増えている今だから、
作品作りにチャレンジしてみませんか?
今まで作った作品も、新しく作った作品も大歓迎!
みんなで一緒に楽しみましょう!!

作品は公民館ブログや公民館だより等でご紹介!

【応募資格】市内在住・在勤・在学者

作品の発表が可能で同意いただける方

【募集作品】俳句、イラスト、写真、立体工作物
などなんでもOK

【応募方法】武里地区公民館にFAXまたはメールで。

①氏名、②ペンネーム、雅号③住所、
④電話番号、⑤コメント(30字以内)
を記入してください。

FAX: 048-737-3033

メール: takekou@city.kasukabe.lg.jp

※立体工作物等は、画像をメールで送付

【募集締切】令和2年6月30日(火)

【作品発表】(応募資格を満たす作品)公民館ブログ
公民館だより、武里地区公民館2階
ロビー等でもご紹介します。

6月21日(日)は日食を見よう!

?日食はなぜ起きるの?

太陽の周りを地球が周り、地球の周りを月が回っています。太陽、月、地球の順に一直線に並んだとき、月によって太陽が隠れて見えなくなる場所があります。この現象が「日食」です。

(太陽が完全に隠れることを皆既日食、部分的に隠れることを部分日食といいます。また、月の影の周りから光がでる金環日食もあります。)

?いつ頃見られるの?

6月21日(日)

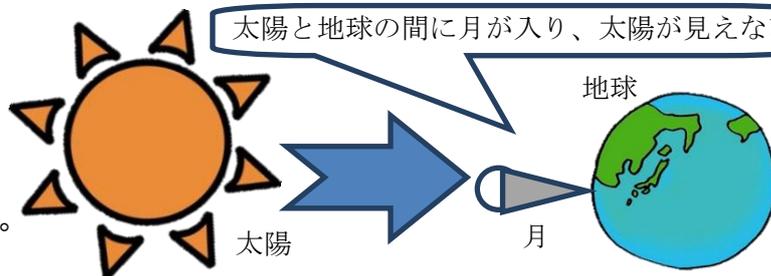
午後4時過ぎから午後6時頃の間起こり、
午後5時10分頃が最大と予想されています。

今回観測できるのは「部分日食」です。

★観測時の注意★

太陽を直接見たり、双眼鏡や望遠鏡で太陽を見ると危険です。また、黒い下敷き等を通して見るのも大変危険です。(目を傷め、失明してしまう場合もあります。)

「日食グラス」や「日食メガネ」を使用するなど、安全な方法で観測を行いましょう。



星博士からのワンポイント!

次回埼玉県で観測できるのは、「10年後」
令和12年6月1日(土)になる予想です。